

港湾整備事業

オホーツク圏は安全で良質な農水産物の供給基地であり、管内港湾は、農水産物の物流など背後地域の生活・産業を支える拠点として、また、沖合・沿岸漁業の基地として重要な役割を担っています。

令和8年度は、第9期北海道総合開発計画に示された施策を推進するため、「我が国の豊かな暮らしを支える北海道～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」、「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」に向けた基盤整備を重点的に取り組みます。

◆ 網走港

新港地区において、港内の静穏度を向上させ、船舶の安全な利用を確保するため、防波堤を整備し、荒天時の高潮・高波による港湾内の浸水被害軽減、船舶の避難場所の確保を推進します。



網走港新港地区 南防波堤改良

◆ 紋別港

港町地区において、安全・安心な荷役環境を確保するため、岸壁の老朽化対策を行います。また、新港町地区において、船舶の安全な利用を確保するため、泊地の浚渫を行います。



紋別港新港町地区 水深7.5m泊地
水深7.5m東岸壁改良

令和8年度 港湾整備事業の概要

| 港湾名 | 地区名 | 事業の概要 |
|-------------|-------|-------------|
| 重要港湾 網走港 | 新港地区 | 南防波堤改良 |
| 重要港湾 紋別港 | 港町地区 | 水深7.5m東岸壁改良 |
| | 新港町地区 | 水深7.5m泊地 |



共創の取組

オホーツク地域は農業・林業・水産物の生産と、観光、脱炭素化に資する森林資源、豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを有するかけがえのない地域です。

網走開発建設部では「かけがえのない地域の未来」のため、第9期北海道総合開発計画に基づく施策を国や地方公共団体、NPO、企業、教育機関等と連携・協働し、地域の課題解決や価値向上に向けた「共創」の取組を実践します。



シーニックバイウェイ北海道

～東オホーツクシーニックバイウェイ～
～層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ(候補)～

シーニックバイウェイとは地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。



東オホーツクシーニック
バイウェイの取組

網走管内では、「東オホーツクシーニックバイウェイ」がルート指定され、その中でも特に魅力的な景観を有する秀逸な道として「並木のウエルカムゲート」を抜けて絶景へと至る道が新たに登録されました。また、「層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ」においてもルート指定を目指して候補ルートとして活動しており、それぞれの団体が「みち」を活かした魅力ある地域づくり、景観づくりに取り組んでいます。



層雲峡・オホーツクシーニック
バイウェイの取組

共創の取組事例



▲ PRポスター

安心・清潔なアクティビティ観光の推進

オホーツク管内は、サイクル・トレイル観光が盛んなエリアですが、トイレがない区間が多く、旅行者の安心・清潔が課題となっています。

網走開発建設部は、これらの課題解決と安心・清潔なアクティビティ観光を支援するため、工事受注者と連携し工事現場のキレイなトイレ設備を旅行者に提供する取組を推進しています。

地域連携教育による人材育成プロジェクト



▲ 管内高校の探究学習授業の様子

「生産空間の維持・発展」に向けて、網走開発建設部は、教育機関・行政・地域団体と連携し、地域の担い手となる若者の人材育成をサポートしています。

管内の高校が取り組む探究学習活動に対し、関係機関との調整や情報提供などを通じて、学びを支える環境づくりを進めています。



「わが村は美しく-北海道」運動

「わが村は美しく-北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために2001年にスタートしました。それぞれの地域に大切なもの「地域の資源」を掘り起こし、地域の活力を高める活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

今年度第12回からは全道一括の表彰とし、団体相互の活性化を図る上でチーム形式とする2団体以上の構成にリニューアルしました。



株式会社滝上町和ハッカ・ラボ[滝上町]
(滝上和ハッカの栽培・商品開発・販売)

第11回コンクール
(令和6年大賞表彰結果)

【奨励賞】

- ・滝上町の高品質な和ハッカの生産を続け、日本中の「ホンモノ」を求める方々に広く伝えていくことを先人たちから課せられた使命と思い活動しています。
- ・郷土教育や、他の地域では見られない、蒸留見学ツアーや、爽やかに生い茂る畑の中で、リフレッシュを図ることをコンセプトに据えたツアーの受入れにも力を入れています。



みなとオアシス

みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設として登録を受けたもので、管内では「みなとオアシス網走」と「みなとオアシスもんべつ」の2カ所が登録されています。

「みなとオアシス網走」は、流氷観光の拠点である「みなと観光交流センター」を中心に、隣接している中心市街地と連携したみなとの賑わい空間を提供しています。



みなと観光交流センター

「みなとオアシスもんべつ」は、流氷観光船「ガリンコ号」の発着ターミナルでもある「海洋交流館」を中心に、その周辺に位置する港の施設を活用し、みなとに賑わいを呼び込み、人々の交流・ふれあい拠点づくりを進めています。



ガリンコ号Ⅲ IMERU

環境保全・景観形成

観光や環境保全のため、地域団体と連携し、管内各地で行われている美化活動や花の植え付け、植樹等のボランティア活動に参加しています。



東オホーツクシーニックバイウェイ活動団体との
防護柵の堆雪除雪作業(国道334号斜里ウトロ地区)



大地と海をつなぐ植樹会(津別町)